

3.11 を忘れない

～ひとの復興～

地域外の人へ、次の世代へ、伝え続ける難しさ

みやぎ生協から被災地宮城のいまをお伝えします

建物を破壊しながら道路を遡る津波の映像を、津波復興新資料館「開上の記憶」で見ました。7年前の3月11日、開上中学校から撮影されたものです。壊れた家屋がぶつかり合う音や避難した人たちの悲鳴に胸が押しつぶされそうになります。

開上の記憶はNPO法人地球のステージが運営している資料館です。命の大切さや震災体験を伝承していくため、語り部講話や開上を案内する活動に取り組んでいます。

シアタールームでの津波映像の上映もその一部です。館内には、子どもたちが震災後、心のケアのために作ったジオラマや開上中学校で実際に使われていたロッカー、時計などが展示されています。

館長の小齋正義さんは「映像や被災物を目の前にして説明すると、あの日に起きたことをより分かっていただけるのではないかと話します。開上の神札が流失した日や山を襲った津波の高さに合わせて建てられた8.4メートルの慰霊碑も、津波の凄まじさを伝えるために案内します。

一方で名取市には津波の直撃を受けた建物がほとんど残っていません。「校舎も公民館もすべて解体された。遺構

が無いなかで、見学に訪れた人たちにかつての街並みを想像してもらい、震災の教訓を伝えなければならぬ。その難しさを感じている」とも言います。

開上の記憶には修学旅行の子どもたちがよく訪れます。次世代に震災の教訓を伝えていくことも課題なのですが、容易ではありません。日中は昭和8年の三陸地震で建立された「地震があったら津波の用心」の碑があったのに、地元住民でさえ知る人がいなかった。小齋さんは、そこにもまた伝え続けることの難しさを見えています。

今は津波警報が出たらみんな逃げるでしょう。しかし100年後、200年後はどうか。後世の人に語り継ぐには、例えば碑を建てたら数年に一度刻んだ文字に墨入れをするなど、行事として残していくことが必要なのだと思います。

語り伝える難しさに直面しながら、「開上の記憶」は現在の開上でできることを考え、実施しています。



▲今年5月、10月及び避難中の近くに移転したばかりの「開上の記憶」と館長の小齋正義（こさいまさよし）さん



▲子どもたちが作成したジオラマ「あの日 おぼえている光景」

※NPO法人地球のステージは心城内科医・桑山紀彦氏が代表を務める団体。2012年11月、津波の犠牲になった開上中学校の生徒14名の遺骨を守る社務所として、また開上の住民のコミュニティの場、命の大切さや震災を伝承していく場として「開上の記憶」を設置した。

ふくいの生協

福井県生活協同組合連合会

〒910-0842 福井市大字5-1 1903番地(県民生協本部ビル1F)
TEL0776-52-3915 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fuku.coop.or.jp

2018年8月3日 No.120

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索



第43回 通常総会

第43回福井県生活協同組合連合会通常総会のご報告

福井県教育センター4階 大ホールにおいて、第43回福井県生活協同組合連合会通常総会が開催されました。

当日は、福井県安全環境部企画官 三澤茂氏が来賓として出席くださり、ご祝辞をいただきました。田中光顯副会長理事の開会宣言の後、福井県民生協の高井基史代表議員が議長として選任され、続いて、理事会を代表して竹生正人会長理事が挨拶し、以下の会議案が可決決定されました。

県連総会

6月7日(木) General meeting

可決決定された議案

- 第1号議案**
2017年度活動報告・決算報告及び剰余金処分案承認の件
- 第2号議案**
2018年度活動方針及び収支予算決定の件

これから暮らしを守る視点を大切にし、また、会員生協のさまざまな取り組みの紹介を積極的に発信していきます。今後とも、より一層のご指導・ご果敢を賜りますようお願い申し上げます。あけ、ご報告とさせていただきます。

Safety of food / **福井県立大学で** / Risk of living /

出前講義

「食の安全と暮らしの安心で、地域へのお役立ち」テーマに **7月17日(火)**

福井県立大学経済学部 北川一教授の講義のゲストスピーカーとして招かれて実施している福井県立大学の学生(3年生)を対象にした出前講義(90分)も、期経協同組合会(2017年)から数えて7年目となりました。

「協同組合って?」「生協って?」の説明の後、生協が組合員の暮らしだけでなく地域や社会、地球環境をよりよくするために、産

や職、学校などで実業活動していることを、パワーポイントを活用して理解を深めていただきました。

メインは、福井大学生協 総務事務理事による講義です。「大学生の学生・教職員のかしと学びを伝える大学生協」と題し、学生協の使命や行っている実業活動、学生が主体的に企画参加したり体験できる企画などを紹介し、「福井県立大学でも、ぜひ大学生協設立にチャレンジしてみてください。福井大学生協が全面的にサポートします」とエールを送りました。



▲福井大学生協 総務事務理事による講義

Let's clean the coast!

第22回

海岸クリーンアップ

1997年の「オホトカ号原油流出事故」をきっかけに毎年実施。

参加者募集

- 9月1日(土) 9:00~10:00 鷹巣海水浴場
- 9月8日(土) 9:00~10:00 三国サンセットビーチ

持ち物 ゴミ袋は事務局で用意します。その他の帽子・軍手・汗拭きタオル・火はさみなどは各自ご用意ください。

※行事保険に(福井県会)の加入します。
※小雨決行。台風の影響などにより、浪が高く海岸清掃が危険と判断した場合は、中止いたします。参加については無理のないよう、ご自分の判断で決めていただきますようお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせは 福井県生協連合会まで 協賛:福井県企業等ボランティア・社会貢献推進会